

受付番号	2024-15		
許可番号	大歯医倫 第 111335 号		
研究課題名	当科における WHO 歯原性腫瘍新分類（2022）エナメル上皮腫の臨床学的検討		
研究責任者	有地 淑子	申請者	野元 大輔
研究終了日	2027 年 3 月 31 日		
所 属	歯科放射線学講座	所 属	歯学研究科（口腔外科学専攻）
職 名	主任教授	職 名	大学院 2 年生

申請の概要

歯原性腫瘍とは、歯の発生に関する組織に由来する顎顔面口腔領域に特有の腫瘍で、比較的まれな病変である。その中でも代表的な疾患であるエナメル上皮腫は、わが国で歯原性腫瘍の約 30～40%を占めている。確定診断に至るまでに困難なこともしばしばあり、治療に関しては再発率が比較的高いこともあり、施設により治療法が異なることも多い。

歯原性腫瘍の分類は、1971 年に WHO が初めて発表してから、1992 年、2005 年、2017 年にその臨床病態や病理組織学的所見などをもとに改訂されており、今回 2022 年に新分類が発表された。新分類の発表から約 2 年が経過した現在でも新分類に関する報告は散見されるのみである。

今回、1994 年 4 月から 2024 年 2 月までの 30 年間に病理組織学的および画像診断にてエナメル上皮腫と診断された患者、約 120 例の臨床データ(診断・治療の際に画像を撮影していない、検査データを記録していない患者は研究対象から除外しています)を 2022 年 WHO 歯原性腫瘍新分類に基づいて再度分類し、再発、性別、年齢、発現部位、主訴、治療法等に関して分析する。早期発見につながる情報や治療法に関して有用な情報を学会発表や論文発表を行うことにより、エナメル上皮腫の診断および治療の一助となることが期待される。